

# 「食品ロス低減」「SDGs」と食生態学

## —食生態学を基礎に何をすべきか、何ができるか

### 基調講演:

「SDGsと食品リサイクル・食品ロス削減に関する国内外の  
取組について」

講演者:和田直樹(環境省 環境再生・資源環境局 総務課 リサイクル推進室 室長補佐)

### 実践からの問題提議:

①大学から地域づくりへ :安達内美子(名古屋学芸大学准教授 食生態学)

②家庭内の食材・料理の動向調査結果から浮き彫りになる「食品ロス」の現状と課題  
:高増雅子(日本女子大学教授 家政経済学)

### 総合討論:

#### 指定発言

○学校現場での多様な実践から:望月章子(月刊「学校給食」編集者)

○食生態学から「SDGs」「食品ロス」をどうみるか:足立己幸(女子栄養大学名誉教授食生態学)

座長:平本福子(宮城学院女子大学教授 調理教育学)

●日 時: 2019年5月26日(日) 14:00~17:00

●会 場: 日本女子大学 新泉山館 (総会・研修会会場案内参照)

今、日本がかかえている食をめぐる課題の一つ「食品ロス低減」、これは全世界で共有し、2030年までの達成をねらう「持続可能な開発目標」SDGs 17項目の各所に関わりあう大きな課題です。地球に生活する一人として、私たちはこの課題をどうとらえ、どう解決に関わるべきか? を考えたいと、今年度の研修会で取り上げることにいたしました。

「食生態学」は、「一人ひとりの生活の質(QOL)と環境の質(QOE)の共生の向上」をめざして、一人ひとりの「食を営む力」の形成・環境づくり・仲間づくりの実現をねらって活動してきました。その「食生態学」にとって、「食品ロス低減」「SDGs」の達成は「食生態学」実践と研究のめざす理念と大きく重なり、欠くことのできない課題でありましょう。今までの実践と研究成果をさまざまな場で活用し、それぞれの課題に合わせた解決法を提案できるものと考えます。

本テーマについて学び、仲間と共に従来の活動や研究を再認識し、得意技を発揮し、不足部分を充実させ、かつ実践や活動の新視点を得る可能性の高い研修会になるものと期待します。

【参加費】 会員・無料、非会員2,000円、学生非会員500円(授業等で参加の場合はご相談ください)

【申込方法】 下記、申込用紙にご記入のうえ、メール又はFAXでお申し込みください。

<主催> NPO法人 食生態学実践フォーラム

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-16-10 コーポ小野202

TEL & Fax: 03-5925-3780

E-mail: [forum0314@angel.ocn.ne.jp](mailto:forum0314@angel.ocn.ne.jp)

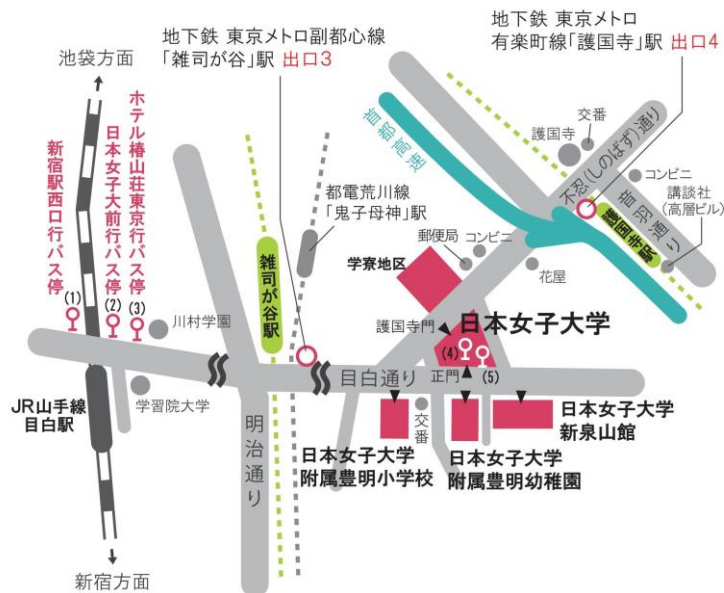
## 総会・研修会会場案内

【会場】日本女子大学 新泉山館

【住所】東京都文京区目白台 2-8-1

### 【交通】

- JR 山手線目白駅から  
徒歩 約 15 分  
バス 約 5 分、「日本女子大前」下車 ※バス停の場所（下記地図参照）  
目白駅前：日本女子大学前行（直行）（学 05）、乗り場②  
新宿駅西口：椿山荘行き都バス（白 61）、乗り場①、③
- 東京メトロ有楽町線護国寺駅（4 番出口）から  
徒歩約 10 分
- 東京メトロ副都心線雑司が谷駅（3 番出口）から  
徒歩約 10 分



# NPO法人 食生態学実践フォーラム研修会申込書

NPO法人 食生態学実践フォーラム  
Fax:03-5925-3780

申込み締めきり 5/20 (月)

5月26日(日) NPO 法人 食生態学実践フォーラム研修会

「食品ロス低減」「SDG s」と食生態学  
ー食生態学を基礎に何をすべきか、何ができるか

5/26・NPO 法人 食生態学実践フォーラム研修会(14:00~17:00)に出席します。

賛助会員     法人賛助会員     学生会員     非会員     学生非会員

氏 名(フリガナ)

連絡先住所  
〒

TEL

FAX

E-mail

NPO 法人食生態学実践フォーラムや今回のシンポジウムへの質問やご希望等があればお書きください。

NPO 法人 食生態学実践フォーラムのホームページに、『子ども食堂』食のQ&A』のページがあります。